			D B (CCO)			1 73.2 1 十1文
)	フーリング 年 アー 関心のあることなどから書くことを決	↓ 左 め,相手や目的に応じて,書〈上で必要	「年」アー考えたことなどから書くことを決め、E	・ ケー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
誤	な事柄を集めること。		な事柄を調べること。		体を見通して事柄を整理すること。	
題	身近な生活の中から,自分の書きた	身近な生活想像したことの中から,自分 の書きたいことを見つける。 思い出したことや想像したことなどを ノー トやカードにメモを取る。	興味・関心のあることや経験した内容 か ら文章に書くことを選ぶ。	に書 〈ことを選ぶ。 相手や目的を意識し,考えや意見の理 由となるものを集めたり選んだりする。	感じたり考えたりしたことから選択して書くことを決める。 自分が取材して,見聞きした情報から目的や意図に応じて,書く事柄を選ぶ。 取材の範囲を雑誌や新聞などにも広	り,いく つかのことを比較したりして課題 を明確にす る。 , 自分が取材して,見聞きした情報を整理 し,目的や意図に応じて,書〈事柄を
	イ 自分の考えが明確になるように,事材 と。	丙の順序に沿って簡単な構成を考えるこ	イ 文章全体における段落の役割を理解 相互の関係などに注意して文章を構成	曜し,自分の考えが明確になるように,段落 ますること。	イ 自分の考えを明確に表現するため, ダ	て章全体の構成の効果を考えること。
構成	事柄の順序に沿って構成する。		の つながりを考えて文章を構成する。 簡単な構成メモを作り、自分の考え	互 の関係に注意して文章を構成する。 全体を見通し,構想メモを作り,自分 の 考えがはっきり伝えられるような段 落の組 み立てを工夫する。	理解 し、目的や意図に応じて、「型」を 用いて、 文章を構成する。 構想メモを練り、自分の考え及び相手	理解 し,目的や意図に応じて,効果的に「型」 を用いて,文章構成を工夫す
	ウ 語と語や文と文との続き方に注意した。	ながら, つながりのある文や文章を書〈こ		目的や必要に応じて理由や事例を挙げて	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	もに,目的や意図に応じて簡単に書いたり
	と。 一文中の語と語の続き方を考えて書 く。 時を表す言葉を知り,使う。	のつ ながりに注意しながら書く。 事柄の順序が表れるような言葉を使	にして書く。 目的や必要に応じて,原因や理由, 事 例を挙げて書く。	にし て書く。 目的や必要に応じて,原因や理由,	目的や意図に応じて,簡単に書いたり 詳 しく書いたりするなど工夫する。	事実と感想,意見を区別して書く。 目的や意図に応じて,簡単に書いたり 詳 しく書いたりするなど工夫する。
記			言 葉を選ぶ。 エ 文章の敬体と常体との違いに注意し	言 葉を選ぶ。 ながら書〈こと。	エ 引用したり,図表やグラフなどを用いる	たりして,自分の考えが伝わるように書くこ
			使い分けて書く。	文章では,敬体と常体が混在しないよう に書く。	め に必要な語句や文を抜き出して,自分の 表現に取り入れる。 自分の考えを分かりやすくするために 関係 のある図表やグラフを用いる。	自分の考えの根拠や具体例を示すため に必要な語句や文を抜き出して,自分の 表現に取り入れる。 自分の考えを分かりやすくするために関係 のある図表やグラフを用いる。 引用した文章はかぎ(「」)で〈〈り,出典を 明記する。
推	エ 文章を読み返す習慣を付けるとともに	こ, 間違いなどに気付き, 正すこと。	オ 文章の間違いを正したり、よりよい表	現に書き直したりすること。	オ 表現の効果などについて確かめたり	工夫したりすること。
高女	自分が書いた文章を音読し,間違いな どに気付く。	I -		いな どを直したり,よりよい表現に書き	昧 さはないかなどを確かめたり,読み手	自分の考えや文章の構成,表現の曖昧 さはないかなどを確かめたり,読み手の立場 に立って文章を客観的に評価したりする。
	オ 書いたものを読み合い、よいところを見付	けて感想を伝え合うこと。	カ 書いたものを発表し合い,書き手の考えの	・ D明確さなどについて意見を述べ合うこと。	カ 書いたものを発表し合い,表現の仕方に着	計目して助言し合うこと。
交流	自分や友達などの文章のよいところ に気 付く。		友達などのすぐれた表現に気付き, 述べ 合う。		1	書いたものを互いに発表し合い,自分の考えをもち,友達の表現の仕方について, どのように書き換えればよいのかを具体的 に助言し合う。